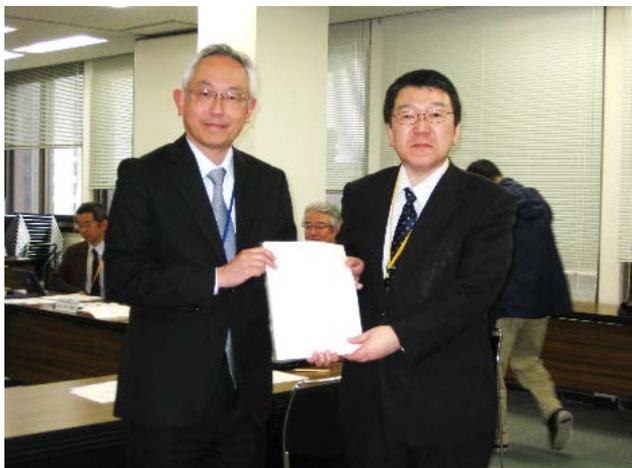


「小型衛星の打ち上げ・利用に関する研究会」最終会合を開催 ～ 小型衛星の利用事例・周波数調整ノウハウを報告書に取りまとめ ～



北陸総合通信局長に報告書を手交
(濱島局長:写真左、八木谷座長:写真右)

総務省北陸総合通信局（局長 濱島 秀夫）は、平成30年3月19日（月）「小型衛星の打ち上げ・利用に関する研究会」の第4回会合（最終会合）を開催しました。

会合では、報告書案の審議が行われ、承認された報告書が座長の八木谷 聡金沢大学教授から濱島 秀夫北陸総合通信局長に手交されました。

報告書は、これまでの会合で出された知見を集約したもので、4章で構成されています。

第1章では「衛星の現状と動向」として、世界と日本の宇宙産業市場の現状や国内の小型衛星の打ち上げ実績などを紹介しています。

第2章では「小型衛星の利用用途」として、大学等による研究開発、自治体等による衛星データを活用した地域活性、小型衛星の開発による企業の技術向上について事例を紹介しています。

第3章では「周波数の国際調整と事前公表資料」として、国際周波数調整の流れや周波数調整の事例を紹介しています。

第4章では「手続き」として、総務省に提出する免許申請書の記載方法や申請後の審査が円滑に進むための留意事項が記載されています。

北陸総合通信局では、この報告書をホームページで公開し、小型衛星の打ち上げ・利用を計画している大学や企業に活用していただくことを期待しています。

「小型衛星の打ち上げ・利用に関する研究会」報告書は次のページに掲載されています。

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/resarch/kogataeiseikennyukai.html>



報告書案の審議の様様

お問い合わせ先：無線通信部企画調整課 076-233-4470